

【一般口演1】 第3席 「天柱穴の復元主治条文を検討するに参考になると思われる臨床例」

愛媛 山見 宝 村山 功 光藤 英彦

私共は、『類成』13巻中の残巻（肺経部分）と『医心方』の明堂条文との特殊性を根拠として『類成』13巻が復元できることを示してきた。既に十四経絡上の経穴に関して、復元作業は終了している。また、複合条文である復元条文を臨床的検討に有用な単位条文とするための方法も示してきた。

今回、日常の臨床において天柱穴の主治条文を検討するに参考になると思われる症例を経験したので報告する。